

## 先輩職員からのメッセージ



### 八幡が大好き 行政の仕事に大きなやりがい

一般事務 こじまさん(令和6年度入庁)

所属する課では、主に住民基本台帳・マイナンバー事務を担当しています。行政の仕事は丁寧さや正確さが求められるため、常に責任が伴い少し大変だと感じますが、同時に大いにやりがいを感じることできる仕事です。市民の皆さんへ、どのように良い行政サービス

を提供できるか意識し、緊張感を持って日々の業務に当たっています。職員は明るい人が多く、公私ともに親身になってくれる人がたくさんいます。八幡が好きで、八幡市や市民のために働きたい!と熱望される皆さん、ぜひ一緒に働きましょう!



### 体力と精神力に自信 地元京都に貢献したい

消防職 ももたさん(令和6年度入庁)

学生時代は柔道に打ち込んでおり、体力やへこたれない精神力には自信があったので、自分の強みをいかし、人を助けることができる消防職を選びました。関東の大学に進学していたので、地元京都に戻って貢献したいと思い、府内の市町村を複数受験した中

で、面接での雰囲気がよく、とても話しやすかった八幡市を選びました。実際の職場では、訓練のしんどさがありますが、必ずフィードバックがあり、課題だけでなく良かったことなどポジティブなことも伝えてもらえる雰囲気がとても良いと感じています。



### 現場に近い地方公務員 市民と一緒に防災広場づくり

技師 やまもとさん(令和4年度入庁)

平成30年の大阪北部地震で倒壊した家屋を見て、人の住まいを守りたいと思い、建築の仕事を目指しました。地方公務員になったのは、倒壊した現場にいち早く駆けつけて助けになれる仕事だと考えたからです。今年度から総務課所属と

なり、庁舎の営繕や、旧庁舎を解体して防災・市民広場をつくるプロジェクトを担当しています。プロジェクトでは、市民の皆さんとワークショップを行い、様々な意見やアイデアを取り入れながら進めていく予定で、とてもやりがいを感じています。



## 市職員のワークライフバランス

いずれも令和6年度実績

職員の平均年齢

39 歳

男性の育児休業取得率

62.5 %

年次有給休暇取得

平均  
14.9 日